



2020 年 5 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福 永 健 司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

- 開催状況
- 開催日時 2020 年 5 月 27 日 14 : 00～14 : 30
- 開催方法 オンラインによる実開催
- 説明会資料名 株式会社トランスジェニック 2020 年 3 月期決算説明会資料

【添付資料】

株式会社トランスジェニック 2020 年 3 月期決算説明会資料

以上

2020年3月期 決算説明会



～人々の健康と豊かな暮らしのために～
<http://www.transgenic.co.jp>

2020年5月27日
株式会社トランスジェニック

注：当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。

I . 2020年3月期 連結決算概要

II . 2021年3月期連結業績予想

III . 研究開発状況

IV . その他



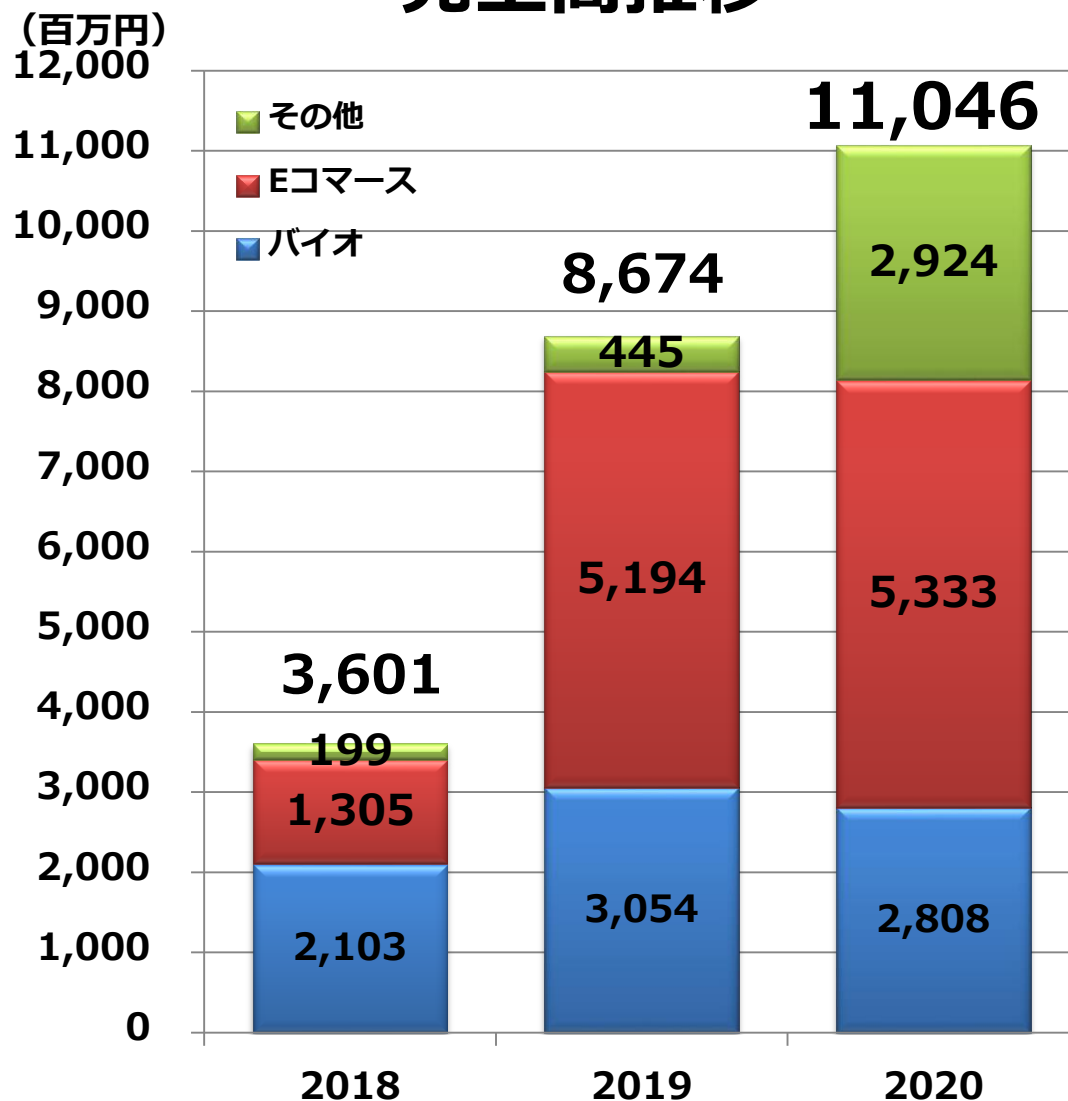
I . 2020年3月期 連結決算概要

2020年3月期連結決算：ハイライト

- ◆ M&AによるTGBS事業大幅増収に伴い、連結売上高は前年比27.3%増の11,046百万円
- ◆ CRO事業減収に伴う営業損益悪化により連結営業利益は前年比35.7%減の173百万円
- ◆ 事業買収関連費用及び金融費用の増加により連結経常利益は前年比63.0%減の94百万円
- ◆ CRO事業設備の減損及び繰延税金資産の取崩しにより最終損益は440百万円の損失計上

単位：百万円	2019年3月期	2020年3月期	増減額
売上高	8,674	11,046	2,372
売上原価	7,176	9,266	2,090
売上総利益	1,498	1,779	281
販管費 (研究開発費)	1,228 (51)	1,605 (38)	377 (▲13)
営業利益	270	173	▲96
経常利益	256	94	▲161
親会社株主に 帰属する当期純利益	202	▲440	▲642

売上高推移



連結売上高は前年比
27.3%増の
11,046百万円

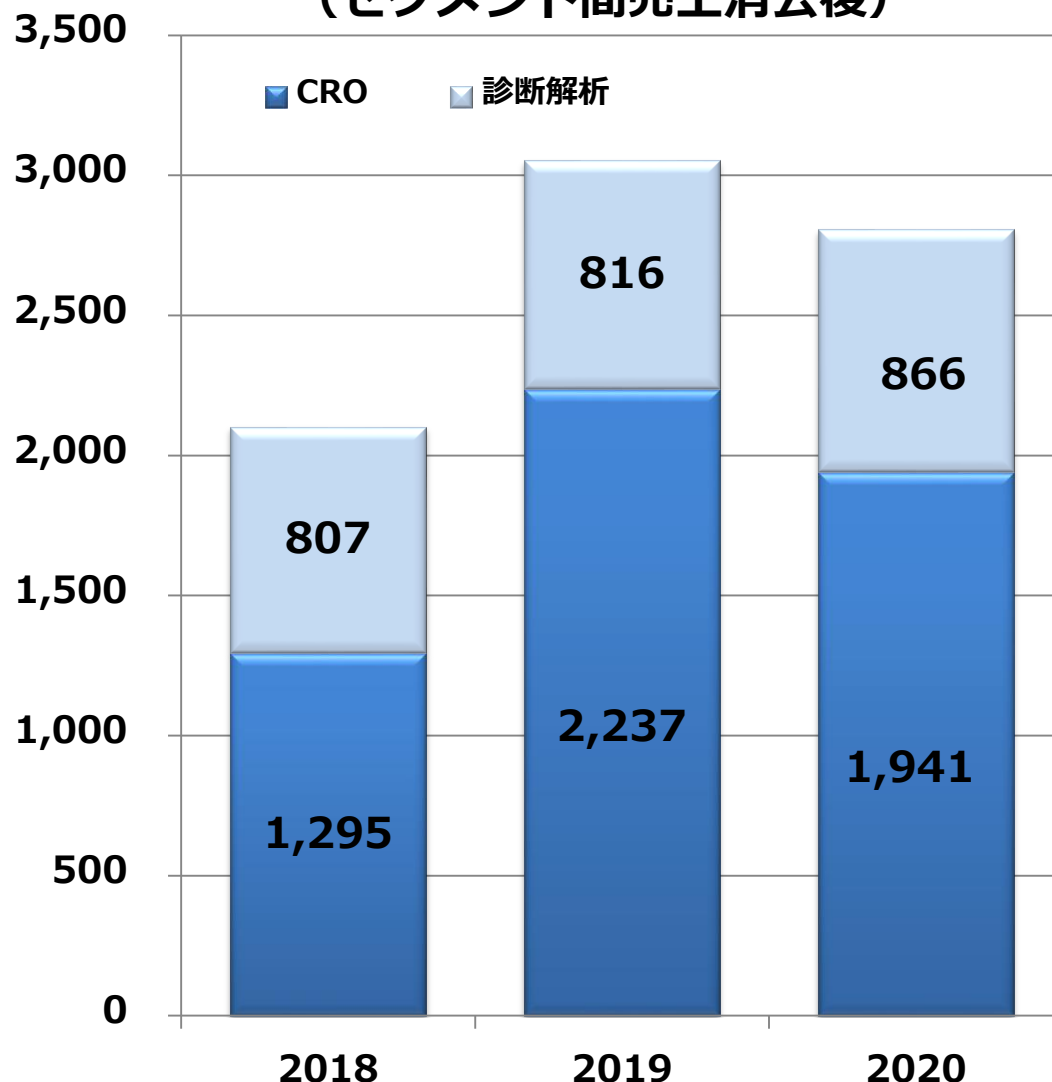
TGMの連結加入にと
もない、TGBS事業は
前年比46.4%増の
8,258百万円

CRO事業不振により
バイオ関連事業は、
前年比8.0%減の
2,808百万円

バイオ関連売上高の推移

(セグメント間売上消去後)

(百万円)

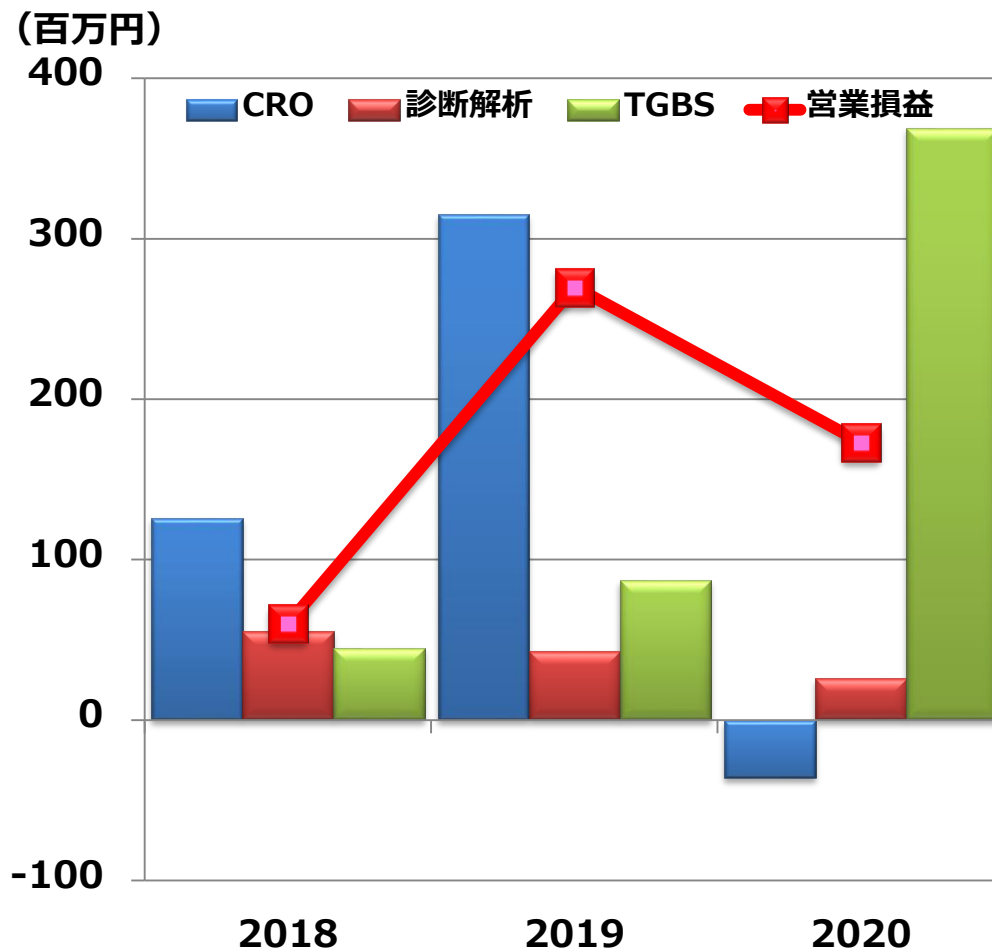


**バイオ関連売上高は
前年比8.0%減の
2,808百万円**

**CRO事業売上高は
受注不調により、
前年比13.2%減の
1,941百万円**

**診断解析事業売上高は
受託解析・検査事業が
堅調に推移し、
前年比6.1%増の
866百万円**

連結営業損益推移

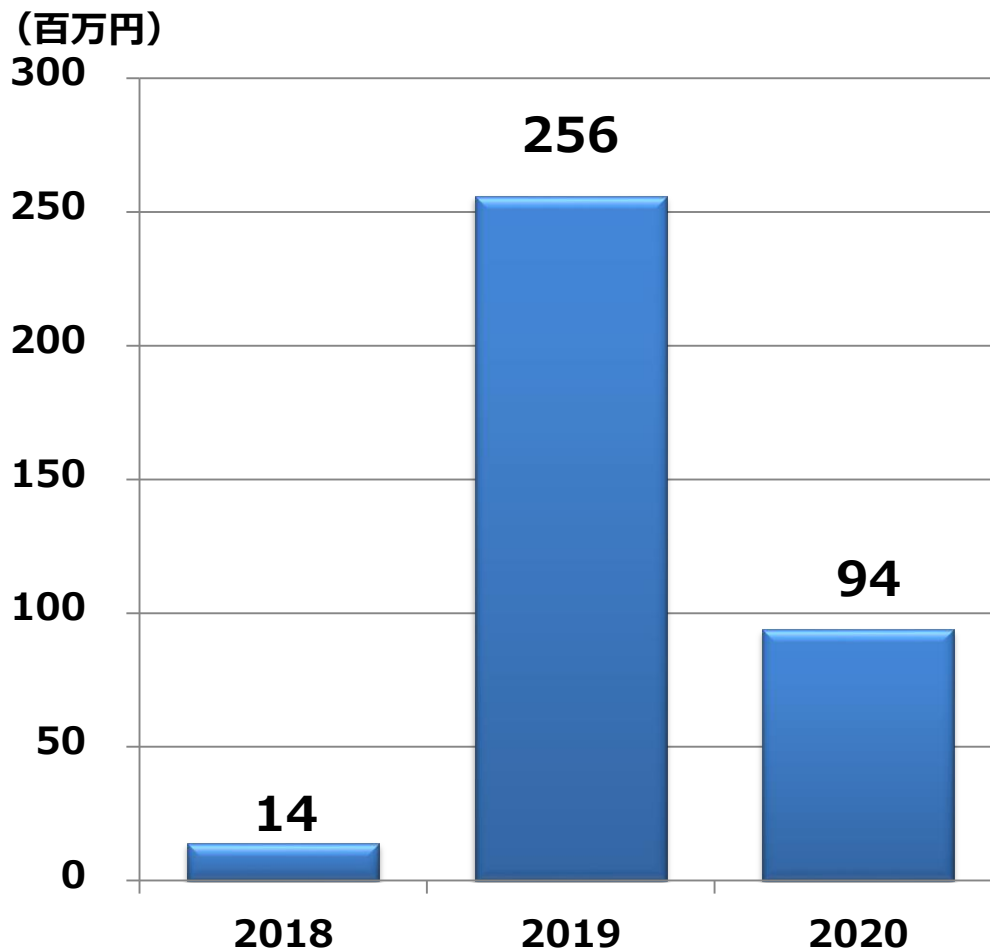


**連結営業利益は
前年比35.7%減の
173百万円**

**TGBS事業は前年比282
百万円増、369百万円
の大幅増益**

**CRO事業は前年比351
百万円減、▲36百万円
の大幅悪化**

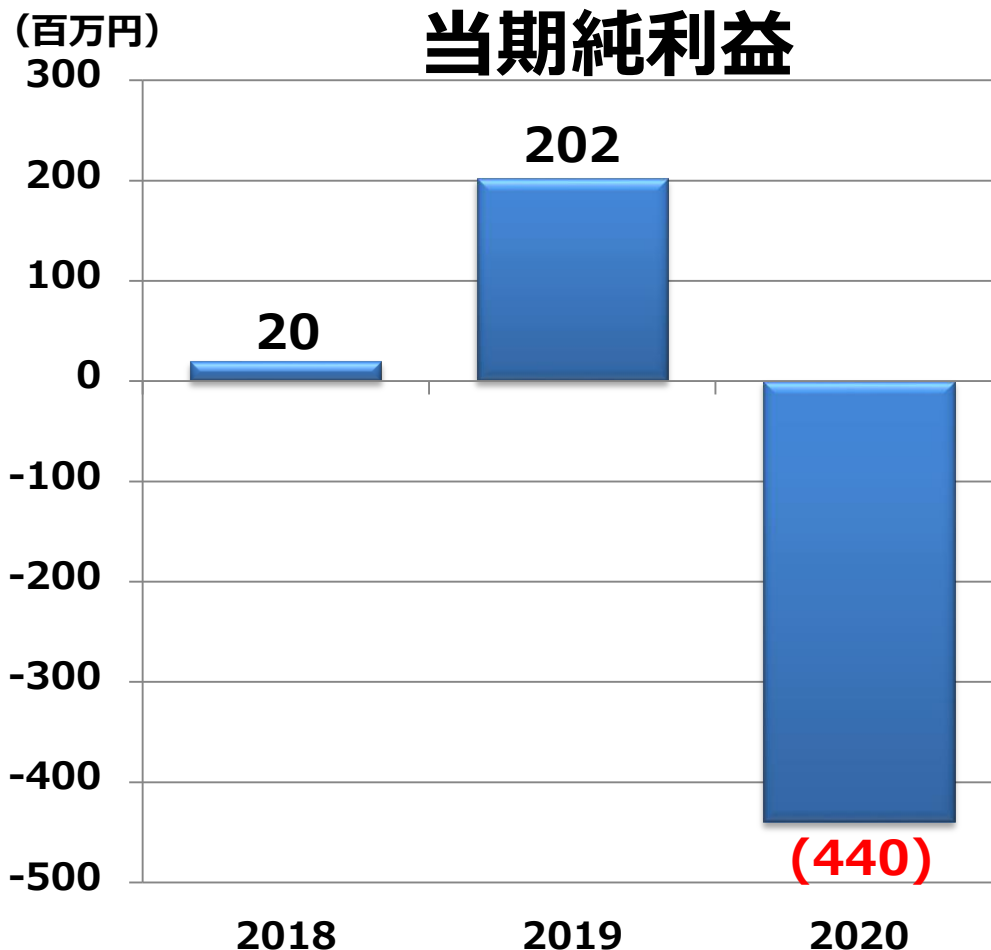
連結経常利益推移



**連結経常利益は
前年比63%減の
94百万円**

**営業利益96百万円の減
益に加え、金融費用の増
加23百万円及びM&A関
連費用58百万円が圧迫**

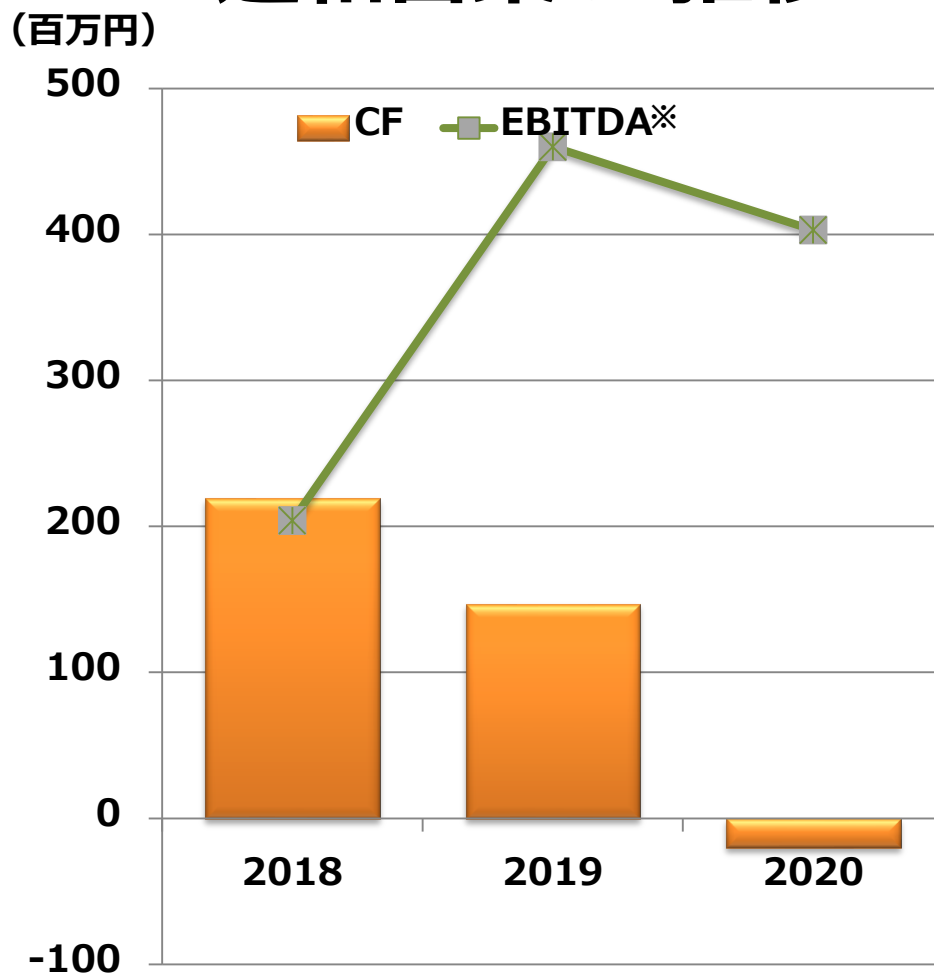
親会社株主に帰属する 当期純利益



連結当期純利益は
前年比642百万円悪化
の▲440百万円

経常利益の減益に加え
CRO関連資産等に係る特
別損失344百万円、及び
繰延税金資産の取崩し
112百万円が影響

連結営業CF推移



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

**連結営業CFは
前期課税所得に係る法人税等負担により前年
比168百万円減の20百
万円の支出**

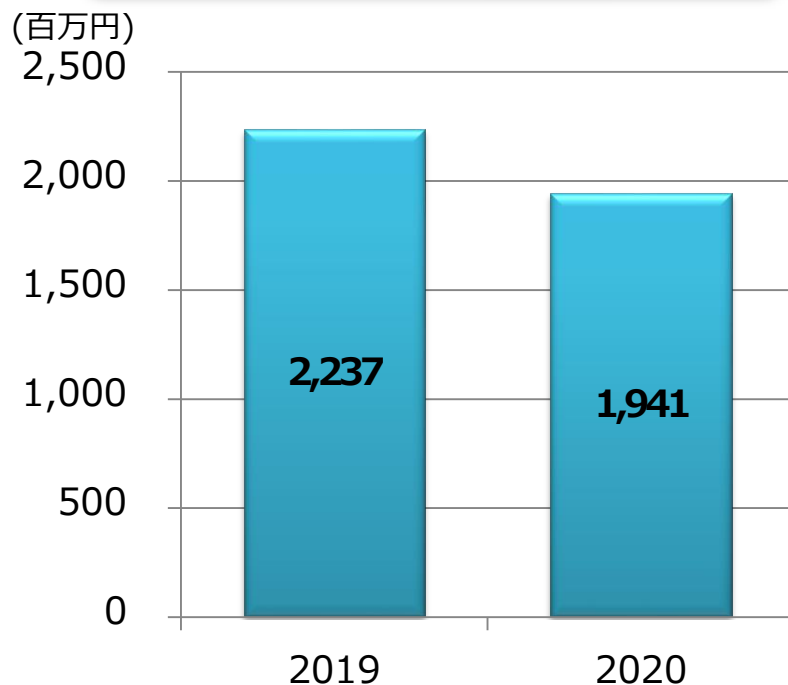
**財務会計上の営業CFは
債権債務・棚卸資産増減
等の一時的要因で変動するが、
これらを排除した
EBITDAは4億強水準を
維持**

セグメント別業績概要：CRO事業

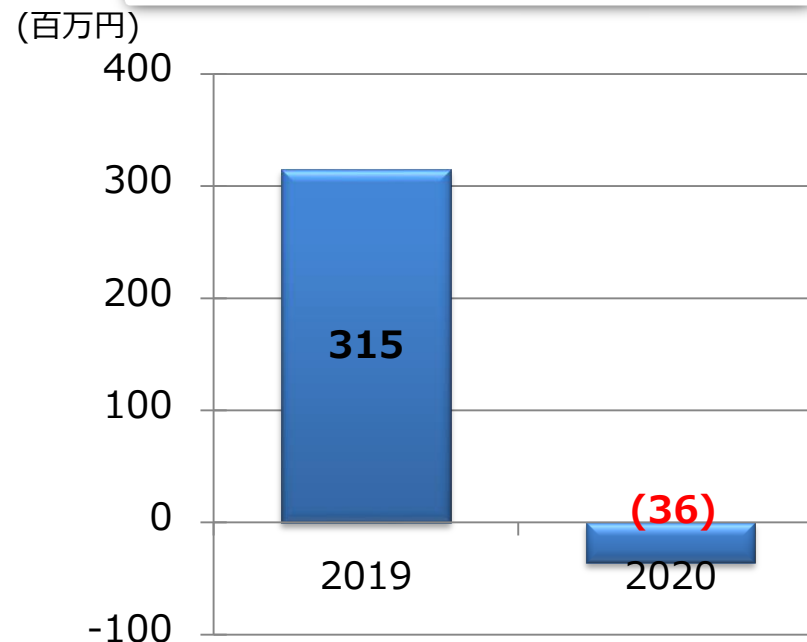
CRO事業

- 売上高は、新型コロナウイルスの影響で、非臨床試験受託用の動物輸入の延期、中国提携ラボでの試験停止等が発生し前年比295百万円減の1,941百万円の減収
- 営業損益は、上記の影響により2月、3月の受注が低迷した結果、2月・3月納品原価に製造間接費が集中し前年比351百万円減の36百万円の赤字を計上

売上高



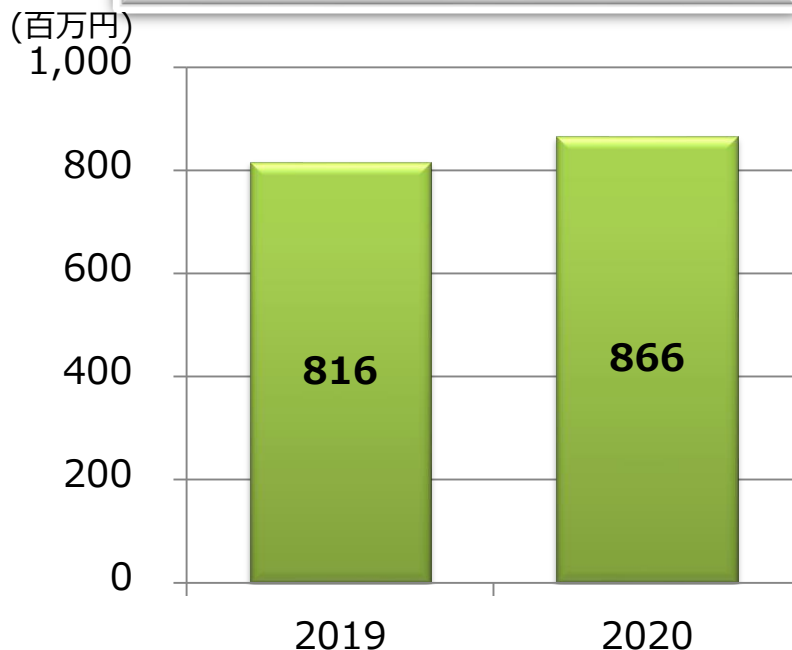
営業利益



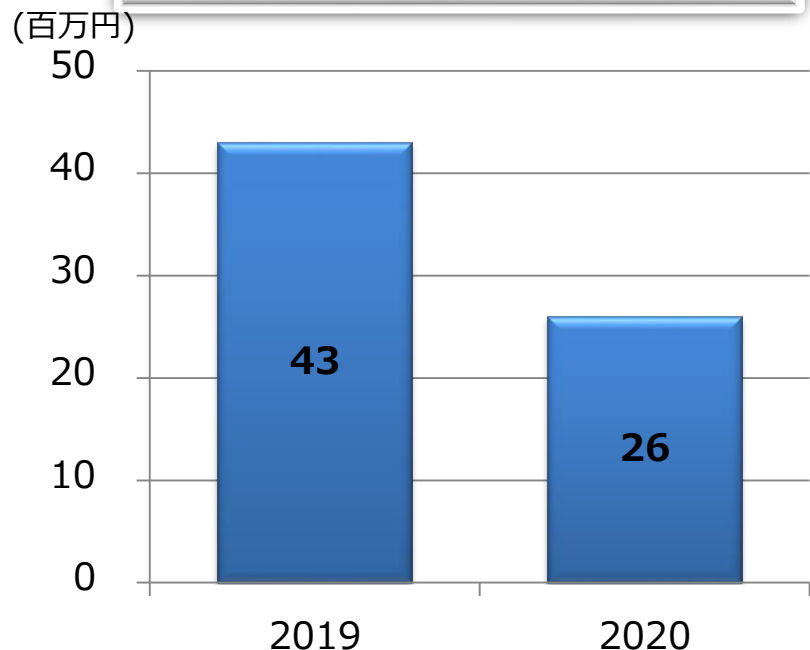
診断解析事業

- 売上高は、検査事業及び受託解析事業が堅調に推移し、前年比49百万円増の866百万円の増収
- 営業利益は、検査・解析に必要な試薬代等の増加で、前年比16百万円減の26百万円の減益

売上高



営業利益

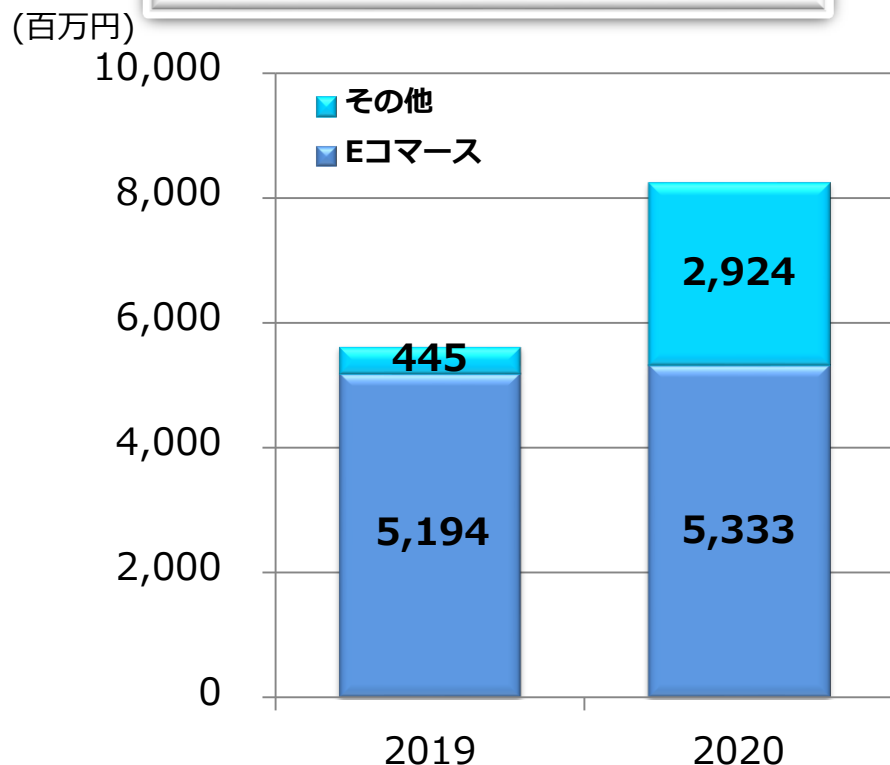


セグメント別業績概要：TGBS事業

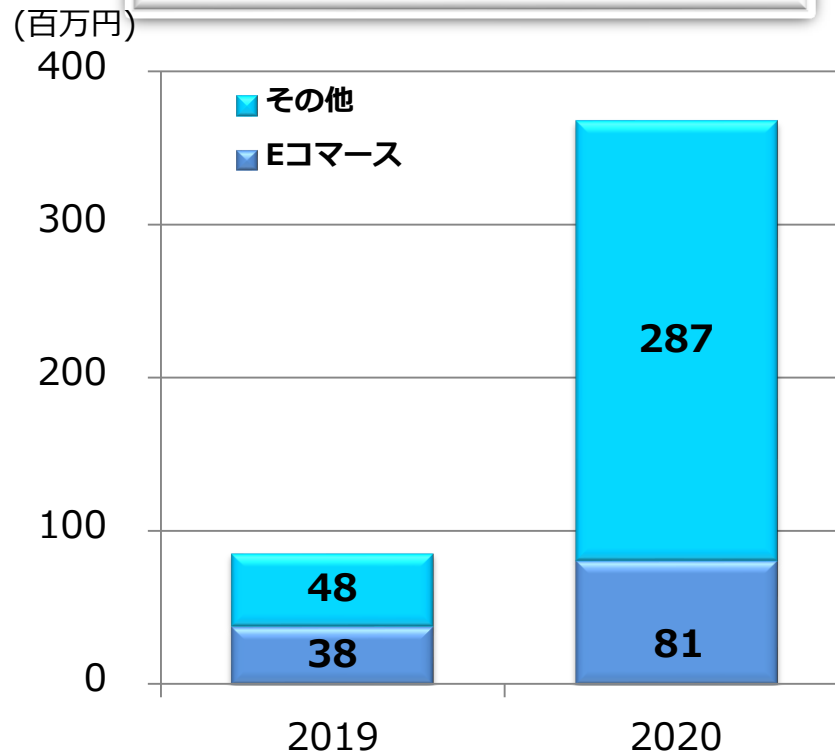
TGBS事業

- 売上高は、TGM連結加入及び消費増税以降もEC事業が堅調に推移し、前年比2,618百万円増の8,258百万円の増収
- 営業利益についても、TGMをはじめとするTGBS事業全般が好調に推移し前年比282百万円増の369百万円と大幅増益

売上高



営業利益





Ⅱ. 2021年3月期連結業績予想

1. 2021年3月期業績予想の公表延期について

新型コロナウイルス特別措置法に基づいた政府による緊急事態宣言が解除されたものの、新型コロナウイルス感染症の完全な終息見通しが不透明な状況において、当社グループの営業活動状況及び非臨床試験用動物の輸入の再開の現時点で目途がたたない状況にあります。

このような状況から、2021年3月期の連結業績予想につきましては、「未定」とさせていただきます。

2. 今後の見通しについて

2021年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な算出が可能となった段階ですみやかに公表いたします。



Ⅲ.研究開発状況

モデルマウスの導入・開発状況

モデルマウス系統の開発

※自社または外部研究機関からの導入開発

ターゲット
遺伝子

KO or Tg

表現型
解析

モデル
としての
検証

販売
CRO

病態可視化マウス

小胞体ストレス可視化マウス

理研

個体販売中

酸化ストレス可視化マウス

群馬大

個体販売中

炎症可視化マウス

群馬大

日本・欧州特許査定

個体販売中

生体ストレス可視化マウス

金沢医科大学

個体販売中

中枢神経系 モデルマウス

アルツハイマー病モデルマウス

大阪市立大

受託サービス実施中

認知症モデルマウス

(有)行動医科研

受託サービス実施中

BDNF (脳由来神経栄養因子)
遺伝子改変マウス

産総研

受託サービス実施中
個体販売準備中

メタボリック シンドローム系 モデルマウス

NASHモデルマウス

東大

受託サービス実施中

肥満抑制モデルマウス

TG社

個体販売中

ヒト化マウス

肝臓ヒト化マウス

熊本大・TG社

技術移転実施中

エクソンヒト化マウス

TG社

国際特許出願

夜型モデルマウス

産総研

個体販売中

アトピー性皮膚炎モデルマウス

兵庫医科大、三重大

受託サービス実施中
個体販売中

Mutaマウス

(株)日本医科学動物
資材研究所

受託サービス実施中※
(遺伝毒性試験)

※(株)安評センター

変異GFP, 変異Lucマウス

京大

個体販売準備中

開発パイプライン状況：抗体・診断薬・治療薬

短期

中期



抗体製品の開発と応用

自社開発
外部研究機関からの導入開発

肝臓がんマーカー

アボット社

日本、アジア、欧州等20か国以上で販売中

尿中がんマーカー

九州大学等

ライセンス契約締結中
(中国企業、国内診断薬メーカー、テクノメディカ)

膵がんマーカー

国立がんセンター

中国企業とライセンス契約締結中
測定キット販売中

肺がんマーカー

国立がんセンター

有用性検証中

日本及び欧州で特許査定
国立がんセンターと共同研究契約締結

うつ病マーカー

産総研

測定キット販売準備中

乳がんマーカー

医化学創薬

有用性検証中

2020年3月期 トピックス

2019年

5月

マウスモノクローナル抗体可変領域ウスモノクローナル抗体可変領域配列の解析サービス配列の解析サービス開始

(株) ボナックとの包括的業務提携契約締結

「エクソンヒト化マウス」に関して国際特許出願

6月

国立がん研究センターとの新規肺がんマーカーに関する共同研究契約締結

GANPマウス技術による体外診断薬の上市に係るマイルストーン受領

コンパニオン診断システム「オンコマインDxTargetTestマルチCDxシステム」保険収載ならびに検査サービス開始※1

7月

京ダイアグノスティクス株式会社との代理店契約締結

北海道小樽市との自己採取HPV検査サービスの契約締結※1

8月

北海道紋別市との自己採取HPV検査サービスの契約締結※1

9月

PDSX models (ヒト由来がん幹細胞スフェロイド細胞とPDSXモデルによる試験サービス) 開始

Mutaマウスに関する権利譲渡契約締結※2

10月

北海道利尻町との自己採取HPV検査サービスの契約締結※1

12月

北海道厚真町との自己採取HPV検査サービスの契約締結※1

北海道羅臼町との自己採取HPV検査サービスの契約締結※1

2020年

3月

新型コロナウイルス検査 (PCR検査) 受託開始の決定※1

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 研究用エクソンヒト化マウスの開発開始

効率的ながん細胞同種移植試験用トランスジェニックマウスの導入

2021年3月期

4月

炎症可視化マウスに関する欧州特許査定

新型コロナウイルス検査 (PCR検査) 札幌市からの検査受託契約締結※1

5月

新型コロナウイルス検査 (PCR検査) 北海道からの検査受託契約締結※1

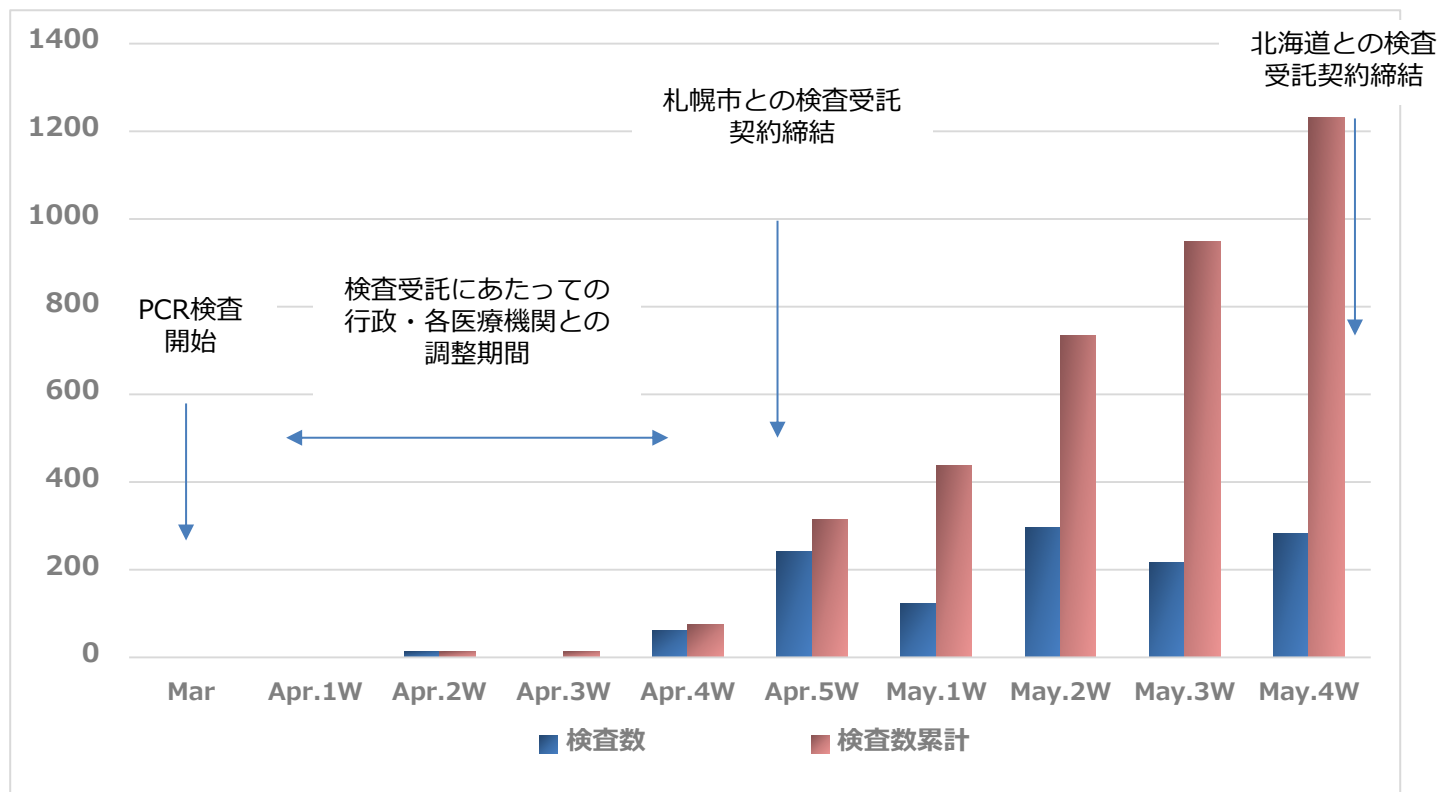
- 特許
- 研究開発
- ライセンス契約
- 製品・サービス
- その他

※1 ジェネティックラボ
※2 安評センター

新型コロナウイルス検査（PCR検査）札幌市からの検査受託契約締結

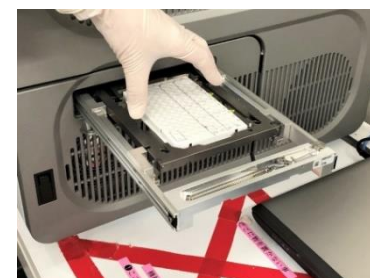
連結子会社であるジェネティックラボは、新型コロナウイルス検査（PCR検査）体制強化に取り組む札幌市及び各医療機関からの検査を受託し民間検査機関として道内の検査数増強に貢献

検体数



検査数は手術等での入院の際に行う入院前検査、患者隔離施設からの退院時陰性確認検査実施で安定的に推移

新型コロナウイルスに感染した患者様のご回復と、同ウイルスによる公衆衛生上の緊急事態が鎮静化することを心より祈念いたしております。





IV. その他

資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分

1. 目的

繰越利益剰余金の欠損填補（株主還元策の準備）・税制上のメリット享受（外形標準課税負担軽減等）

2. 減少内容

- ・ 資本金 3,484,241千円のうち、3,434,241千円減少（減少後の資本金50,000千円）
- ・ 資本準備金1,316,795千円のうち、1,316,795千円減少（減少後の資本準備金0千円）

3. 減少方法

無償減資、発行済株式総数も変更せず、資本金及び資本準備金減少額については、その他資本剰余金に振替

4. 剰余金処分内容

上記3で生じた、その他資本剰余金を欠損相当額、繰越利益剰余金に振替え欠損填補に充当

（2～4の資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分のイメージ）

（当社貸借対照表の株主資本の部）	2020年3月末	減資	欠損填補	減資・欠損填補後
資本金	3,484百万円	▲3,434百万円	-	50百万円
資本剰余金	1,316百万円	3,434百万円	▲501百万円	4,249百万円
資本準備金	1,316百万円	▲1,316百万円	-	-
その他資本剰余金	-	4,751百万円	▲501百万円	4,249百万円
利益剰余金	▲501百万円	-	501百万円	-
自己株式	▲1百万円	-	-	▲1百万円
株主資本合計	4,297百万円	-	-	4,297百万円

5. 今後のスケジュール

- ① 定時株主総会決議日 2020年6月17日
- ② 債権者異議申述公告日 2020年7月中旬（予定）
- ③ 債権者異議申述最終期日 2020年8月中旬（予定）
- ④ 効力発生日 2020年8月28日（予定）



～人々の健康と豊かな暮らしのために～

<http://www.transgenic.co.jp>